# 世田谷区立玉川野毛町公園拡張事業の基本的な考え方について

### 1.はじめに

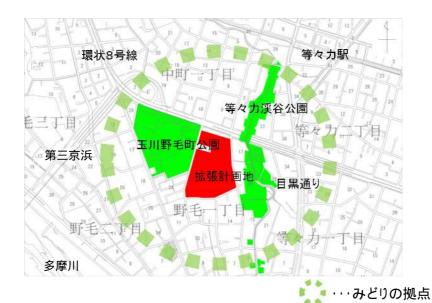
国分寺崖線の崖上の武蔵野台地に位置する世田谷区立玉川野毛町公園は、昭和31年に都立公園として開園し、昭和40年に区へ移管されて以来、長年にわたり、みどりのオープンスペース及びレクリエーションの場として地域住民に親しまれてきました。

また、近隣に位置する等々力渓谷公園は、東京23区唯一の自然渓谷であり、自然景観を求めて多くの利用者が来訪しており、玉川野毛町公園内に位置する野毛大塚古墳とともに散策経路として親しまれています。

玉川野毛町公園と等々力渓谷公園の間には、広大な面積を有する国家公務員宿舎がありましたが、当該宿舎の廃止に伴い、跡地の一部(約2.8へクタール)を利用して、玉川野毛町公園を拡張整備し、既存のみどりの保全と公園機能の拡充を図ることとしました。

本紙は、公園拡張事業を進めるための公園整備の基本的な考え方や視点、今後の進め方などを示すものです。

# 世田谷区立玉川野毛町公園の拡張計画地



#### 2. 背景

区では、平成29年に「生きものつながる世田谷プラン」(世田谷区版の生物多様性地域戦略)を策定しており、その行動計画において、玉川野毛町公園拡張事業を「生きもの拠点づくりプロジェクト」と称したリーディングプロジェクトに位置づけ、公園整備による生物多様性に配慮した環境づくりをはじめ、体験・学習の場として活用することとしています。

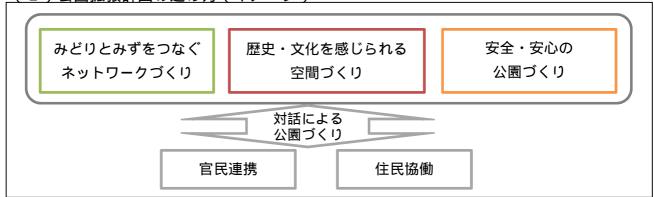
また、平成元年から実施された野毛大塚古墳の調査で出土した遺物が、世

田谷区所蔵としては初めて、平成28年8月に一括して国の重要文化財に指定されたことから、文化財資源に対する注目が集まるとともに、その活用の機運が高まっています。

- 3.公園拡張のテーマと進め方
- (1)公園拡張のテーマ(仮)
  - 「世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどり、歴史文化を知り、育み、次世代へつなぐ場」

世田谷のみどり(生物多様性の拠点)・歴史文化の拠点

(2)公園拡張計画の進め方(イメージ)



#### 4. 公園拡張の基本的な考え方

公園拡張の基本的な考え方を以下へ示す。

# みどりとみずをつなぐネットワークづくり

- ・国分寺崖線のみどりや東京23区唯一の自然渓谷である等々力渓谷等、 貴重で豊かな自然を活かし、生きものの拠点となり、都市生活における 貴重な自然体験の場を提供する。
- ·草地から多様な階層構造をもったみどりを創出し、豊かな生態系を形成し、生きものネットワークを強化する。

### 歴史・文化を感じられる空間づくり

- ·有史以来の世田谷の歴史を学び、次の時代に引き継ぎ、文化を育てる場をつくる。
- ·国分寺崖線には荏原台古墳群と呼ばれる多くの古墳群がみられる。野毛 大塚古墳や重要文化財に指定された出土品等の文化財を通して、多摩川 等周辺の自然環境と歴史・文化を守り伝える場をつくる。

#### 安全・安心の公園づくり

- ・地域の動線を継承し、にぎわいの場をつくり、子どもからお年寄りまで、 安心して訪れることができる楽しい場をつくる。
- ・地域の防災活動拠点、広域避難場所、緊急輸送道路(環状八号線)を踏まえた、災害対応拠点をつくる。

# 5. 公園計画の視点

公園づくりを進めるにあたり、次の視点を持って検討を行う。

### (1)対話による公園づくり

公園利用者や住民、民間事業者と公園計画について対話を進め、計画づくりにあたり、住民意向を踏まえた民間活力の効果的な導入を検討し、公園サービス(便益・休養・教養)の向上を図る。

### 住民協働

- ・地域住民をはじめ区民との参加・協働により公園づくりを進める。
- ·みどりや歴史・文化への理解を深め、普及啓発の担い手の育成と機運 を醸成する。
- ・住民協働により区民が活躍できる体制づくりを構築する。 官民連携
- ・区民ニーズ、公園行政の潮流を踏まえ、公園サービスの向上を図り、 より良い公共サービスを提供する。
- ·公園の利活用を図るような民間事業者からの意見等を計画段階から取り入れ、区民、区、民間事業者の3者協働による計画、整備、管理運営体制の構築を進める。

# (2)対象地と周辺環境について

玉川野毛町公園の既存開園区域、拡張区域、等々力渓谷公園を一つの拠点として捉え、等々力駅や多摩川など周辺の地域資源との連続性、回遊性を意識する。

### (3)公園施設整備について

世田谷区のみどり(生物多様性)と歴史・文化の拠点とするため、現地の情報発信を担うとともに、普及啓発、体験や学習の場、住民協働等の活動に必要な機能を有する施設整備を検討する。

# 6.スケジュール(案)

					平成 33 年度	
		平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	~ 平成 34 年度	平成 35 年度
公計	園	基本計画	基本設計	実施設計	起 工 工 事	工事・開園
		公園利用者や住民、事業者の声を聞きながら公園計画を進めます				